



兄の遺体茶毘にせしとふ戦友も逝く  
長き戦後を語りてよ兄に

筒井黒田和子

戴きしてつぽう百合のあまき香に  
稲取り入れし宵をくつろぐ

東古泉 竹田和子

夏空と秋空出会ふまほろばの  
空の境は見ることもなし

恵久美 池内 寿美子

弟と稲刈りしたる日を思ふ  
サイパン玉砕に骨も還へらず

西古泉 今井 善範

夫は逝き傘寿こえたるこの吾か  
何に充たさんうつつなる日々

北黒田 本田 ミヤ子

学徒らの眠りつづけて六十年  
碑に香をたく喜寿なる吾は

昌農内 池内 ミヨ子

高々と太鼓台担ぐ男衆  
掛け声揃へ我に迫り来

北黒田 森田 和子

農作業の休憩とりて茶を入れぬ  
千せる大豆のはぜる音して

南黒田 佐々木 和子

九十六歳の母の便よりを白萩の  
こぼれる庭に立ちて読みつぐ

西古泉 栗田 智恵子

楠の樹の木漏れ日受けし狛犬さん  
巻毛の先は苔帯びてけり

筒井黒田 中佐 栄



編集後記

◆ 重く垂れこめた稲穂をすくい  
いとなるように、コンパインの  
軽やかな音が響き、その向こ  
うに、秋祭の「のほり」がは  
ためいています。まさに実り  
の秋そのものの松前の姿です。  
◆ それと裏腹に、パキスタン  
の大地震、その前はニューオ  
ーリンズのハリケーン、そし  
てスマトラ島沖の地震と大津  
波。

ケタはずれの大被害に言葉  
もありません。パキスタンの  
被災者が、「軍も警察も来て  
くれなかった」とテレビに向  
かって話していました。手が  
まわらないとはこのことでし  
ょう。

◆ 本町では、自主防災組織の  
できたところ、今区長さんを  
中心に準備が進んでいるとこ  
ろと活発な動きが見られます。  
◆ 議会の人事構成で（5頁参  
照）議会広報編集特別委員会  
委員も一部異動がありました。  
これまでの経験と併せて、  
研鑽に励み、情報提供の責務  
を果たせるよう努力していま  
います。